

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

スターチャイルド《江田ナーサリー》

横浜市青葉区あざみ野南2 - 4 - 7セントラルビル徳江1F

運営主体：株式会社 みつば

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～15 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	16～23 ページ
利用者本人調査分析	24～25 ページ
事業者コメント	26 ページ

2009年10月20日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	スターチャイルド《江田ナーサリー》（保育所）	
報告書作成日	2009年9月15日	評価に要した期間 4ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2009年5月1日～6月30日</p>	<p>職員会議で趣旨等の説明をし、常勤職員が一つずつ項目を確認し、意見の交換をしながら各個人が勤務時間内に記入した。非常勤職員は、職員から説明を受け各個人が勤務時間内に記入した。</p> <p>各個人が記入したものを基に担当者が集計し、意見も同じようなものはまとめて記入した。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2009年6月15日～6月30日</p>	<p>全園児の保護者（29家族）に対して保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 2009年7月30日 第2日 2009年8月4日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：2歳児クラス園児および4、5歳児クラス園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・リーダー保育士に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士5名、障がい児担当保育士1名、管理栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、園長、事業部職員面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 2009年7月30日 第2日 2009年8月4日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

スターチャイルド 江田ナーサリー は、東急田園都市線江田駅から歩いて5分のところにあります。途中には、コンビニエンスストア、洋装店、リサイクルショップなどの商店やファミリーレストランが立ち並んでいます。当園は、商業ビル（3階建）の1階部分にあり、広い道路に面しています。道路の反対側には遊水地があり、その向こうは公園で子どもたちの散歩道になっています。園庭はありませんが、保育室の南側は木製のテラスになっていて砂場もあります。また、テラスには大小のプールが置かれて子どもたちのプール遊びの場所となっています。

定員は、30名（0歳～5歳。産休明け保育あり）です。平日の保育時間は、延長保育を含めて午前7時から午後8時30分まで、土曜日は午前7時から午後5時までです。

当園は、平成16年12月に開設されました。運営法人の株式会社みつばは、自動車管理事業、旅客自動車運送事業、スターチャイルド事業を運営しています。さらに、グループ会社の一つに保育士・幼稚園教諭の人材派遣および職業紹介、研修サービスを行う会社があります。スターチャイルド事業部は、当園と川崎市に1園、認可保育園を運営しています。その他に事業所内託児施設、イベント託児サービス、英語教室を運営しています。また、当園に隣接して学童保育施設を開設しました。（平成21年9月1日開設）

スターチャイルド 江田ナーサリー の保育理念は、「生きる喜びの共感」です。基本方針は、「お家のリビングのような場所をイメージして、子どもが安心して過ごせるように配慮します」「否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きな言葉かけをします」「自分を愛する心、お友だちを愛する心、生き物や草花を愛する心を育てます」「自らの意思で選択し、思いや考えを正しく表現できる力を育てます」「子どもたち一人ひとりの思いを全力で受け止めます」です。保育目標は「豊かな愛情と感性を育みます」「あふれる意欲と体力を育みます」「優しい心と思いやりを育みます」です。

高く評価できる点

1、子どもたちは穏やかでゆったりとした園生活を楽しんでいます

幼児たちは発声練習などの指導を受けながら歌う楽しさを身に付け、きれいな声でのびのびと歌います。また、音楽にあわせて身体を動かすことが大好きで、何度もリクエストするなど、どの子どもも生き生きと踊ったり表現したりしています。

乳児は、保育士手作りの絵本や紙芝居などが大好きです。絵本や紙芝居は、保育士の歌と一緒にお話が展開していくので、子どもたちもいつの間にか自然と歌を覚え、歌いながら絵本や紙芝居を楽しんでいます。

各クラスは、5名から7名の少人数で構成されているため、保育士の目が行き届いています。また、子どもたちは保育士から、穏やかなことばで声をかけてもらい、安心して一日を過ごしています。

異年齢児同士の交流の機会も多く、年上の子どもは年下の子どもに対して親切で思いやりをもって接しています。また、子どもたちは、障がいのある無しに関わらず、お互いに信頼関係があり、ごく自然にふれ合える仲間意識が育っています。

子どもたちは、基本方針の「家のリビングのような家庭的な雰囲気」の中で職員に大切にされて他人を思いやる心が育まれています。

2、職員は連携よく保育に励んでいます

職員は、カリキュラム会議（職員会議）の中で、保育方針・保育計画・指導計画などについて話し合うと同時に、子どもの様子についても意見交換をしていて、全職員で一人ひとりの子どもを把握して保育に臨んでいます。また、連絡事項や確認事項があれば、クラスミーティングでその日のうちに話し合っています。

で、職員間で情報の共有化ができています。また、職員は子どもの側を離れるなどの場合には必ず別の職員に声かけをしており、職員間の連携はスムーズに図られています。

保育に関して分からないことや相談したいことなどがあれば、すぐに先輩保育士に聞いたり、リーダーや施設長にも気軽に相談できる雰囲気があります。

朝夕の送迎時には、保育士は保護者と話す時間を大切にして、子どもの様子を知らせています。また、保護者の話に耳を傾け、要望などを汲み取るよう心がけていますので、保護者も安心して子どもを預けていることが利用者アンケートの結果からもうかがえます。

3、職員は研修や人事考課制度を通して保育サービスの向上に努めています

法人主催の全体研修、人材育成のための人事考課制度、内部研修、外部研修などが充実しています。

全体研修では、「法人の精神や目標などについて」や「社会人としてのビジネスマナー」等の研修を受けています。

内部研修は、保育研修やマナー研修などを取り入れた研修を年3回行っています。外部研修は、横浜市・区による研修や保育センター等での研修を受講しています。職員は、自らが受講したい研修はもちろんのこと、施設長から受講を勧められた研修等を積極的に受講しています。いずれも研修後は、報告書を提出、職員間で周知するとともに、その報告書は、職員専用のホームページに掲載されて系列園の職員が自由に閲覧できる仕組みが作られており、情報の共有化がなされています。さらに職員は個人情報取り扱いに関する講義とテストを受け、合格を目指して学習する機会があります。

職員は、上期・下期と年2回の人事考課を受けています。人事考課の折には、セルフチェックシートに記入後、施設長の個人面談を受けます。面談は、自身の保育を振り返って自ら課題を見出し、次期に向けて目標を定め、やる気を育てる機会となっています。

改善や工夫が望まれる点

1、マニュアルのさらなる検討を

健康マニュアル、感染症対応マニュアル、衛生管理に関するマニュアル、安全管理に関するマニュアルなどありますが、実際に問題に直面した場合の利用を考えると不十分な点が見受けられます。それぞれのマニュアルについて、活用しやすく、分かりやすいマニュアル作りの検討が望まれます。

2、地域との連携について一工夫を

当園は、駅から近く、働く家庭にとっては便利な場所にありますが、その分住宅地から離れているので、地域の自治会や町内会には縁が薄く、交流もありません。子どもは地域との関わりの中で成長していきます。掲示板などを設けて園の行事や保育相談のお知らせをするなど、地域の人に関心を持ってもらえるような取り組みの工夫を期待します。

3、保護者同士が互いに話し合える機会についての検討を

園は、就業している保護者にできるだけ配慮して、懇談会は年1回、個人面談は希望者に対して実施しています。利用者アンケートによりますと「保護者同士の話が不足している」「保護者で情報交換がしたい」という声が見受けられます。よりよい園運営のためにも保護者同士がより親しくなる機会についての検討が望まれます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育理念は、「生きる喜びの共感」です。基本方針は、「お家のリビングのような場所をイメージして、子どもが安心して過ごせるように配慮します」「否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きな言葉かけをします」「自分を愛する心、お友だちを愛する心、生き物や草花を愛する心を育てます」「自らの意思で選択し、思いや考えを正しく表現できる力を育てます」「子どもたち一人ひとりの思いを全力で受け止めます」です。保育目標は「豊かな愛情と感性を育みます」「あふれる意欲と体力を育みます」「優しい心と思いやりを育みます」です。いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 職員は、全体研修や人事考課制度を通じて職員が学ぶべき規範や保育理念、基本方針について学び、理解して保育にあたっています。
- ◇ 法人作成の「個人情報保護方針」に基づいて守秘義務の意義や目的について研修を受け理解しています。個人情報に関する書類は事務室内の施錠できる書庫に保管しています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 子どもたちは、日常的に合同で過ごす時間があり、異年齢児間の交流は自然に行われています。
- ◇ 子どもたちは、歌を歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたりすることを大いに経験しています。
- ◇ 子ども同士のけんかでは、年下のクラスでは保育士が間に入って言葉を仲介し、子ども同士が納得してけんかが収まっていますし、年上のクラスでは、言葉で自分の気持ちを伝えることができるように指導され、けんかが長引くことはありません。
- ◇ 子どもたちは、お箸の使い方について2歳から体験し始め、成長に応じて上手に使えることがようになっていきます。
- ◇ 午睡は、眠くない子どもには身体を休めることの大切さを話して静かに過ごさせています。また、就学に向けて5歳児の午睡を一斉活動にしない時期の設定は、毎年決まった時期ではなく、その年度の子どもの様子に応じて決定しています。
- ◇ トイレトレーニングでは、排泄状況を記録し、保護者と相談しながら無理なく行っています。
- ◇ 食後の歯磨きは、歯科医師から歯磨きについて指導を受けています。2、3歳児は、歯ブラシを2本用意し、1本は自分で持って磨き、もう1本は保育士が管理して衛生的に保ち、仕上げ磨きに使用しています。4、5歳児は1本の歯ブラシで磨き、保育士による仕上げ磨きも行っています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 年齢毎に年間指導計画や月間指導計画、週案を作成しています。
- ◇ 保育計画の作成にあっては、家族の就労状況に配慮して作成しています。
- ◇ 職員は、子ども一人ひとりとのスキンシップを大切にして接し、気配りをしながら子どもの様子を把握しています。
- ◇ 障がいのある子どもを受入れ、個人ノートを作成して、担当保育士だけでなくどの保育士でもその子の状況の把握ができ、対応もしています。
- ◇ 年2回の人事考課制度が実施され、職員はセルフチェックシートに自ら記入し、それを基に施設長との面談で話しあい、保育の振り返りと来期に向けての目標を定めています。
- ◇ 各種マニュアルはありますが、活用しやすい、分かりやすいマニュアル作りが望まれます。

4、地域との交流・連携

- ◇ 駅から近く、個人商店よりも商業ビルが多い地域にあり、園自体も商業ビルの1階部分にあるので、

地域との交流に乏しい状況にあります。今後は地域との交流について園から情報を発信するなどの工夫が必要です。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 法人主催の全体講習では、「法人の精神や目標について」「社会人としてのビジネスマナー」など、職員が守るべき法、規範、倫理などについて学んでいます。正職員、非常勤職員が参加しています。
- ◇ 経営や運営状況などの情報は、年1回施設長が職員に報告しています。また、法人の経営などについては、ホームページ上で閲覧することができます。
- ◇ 法人は、新聞や行政などからの情報を収集し、分析して将来の運営に備えています。
- ◇ 法人は、保育園経営についての3年ごとの保育事業計画を策定しています。
- ◇ 法人は、次代の組織運営に備え、新たなサービスを計画し、また後継者の育成にも取り組んでいます。
- ◇ 保護者同士の話し合いを求める声がアンケートでいくつも見られました。保護者同士の関係作りについて検討が望まれます。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 職員は、法人の研修や内部研修、市や区の研修、白峰学園保育センターの研修など積極的に参加し、研鑽を積んでいます。研修受講後は、報告書を提出し職員間で周知しています。また、職員専用のホームページにも掲載され、系列園同士で閲覧することができます。
- ◇ サービス向上を目指し、取組みの一つとして週に2回総園長(法人が運営する保育園を統括する園長)が来園して指導しています。
- ◇ 系列園と合同で研修を行うことがあり、他園の良い例などを学ぶことができます。
- ◇ プロのサッカー指導者から「子どもの運動能力について」の講義を受け、保育に活かしています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は、「生きる喜びの共感」で、子どもを中心として、保護者と保育者がこれらの感情を共有することを大切にしています。また、基本方針は、「お家のリビングのような場所をイメージして、こどもが安心して過ごせるよう配慮します」「否定語、禁止語は極力使わず、肯定形による前向きなことばがけをします」「自分を愛する心、お友だちを愛する心、生きものや草花を愛する心を育てます」「自らの意思で選択し、思いや考えを正しく表現できる力を育てます」「子どもたち一人ひとりの思いを全力で受け止めます」を掲げています。保育目標は、「豊かな愛情と感性を育みます」「あふれる意欲と体力を育みます」「優しい心と思いやりを育みます」を掲げています。いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 職員は、法人の全体研修会や年2回の人事考課の面談等で保育理念や基本方針について確認し、理解しています。 ・ 保育計画は基本方針に基づき、カリキュラム会議等を通して全職員が関わって作成しています。 ・ 保育計画は、保護者の就労状況や生活環境、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成しています。 ・ 指導計画は保育計画に基づき、子どもの状態や月齢に応じて作成しています。 ・ 保育士は、日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし指導計画に反映させています。

- 2 子どもの発達や状況に
応じた適切な援助の実施



- ・ 入園前に家庭から提出された書類で、生育歴や家庭状況などを把握するとともに、保護者面接では保育士2名で対応して子どもの観察を行うなど把握に努めています。
- ・ 園はならし保育を取り入れ、子どもが抛り所とするものの持込みを認めています。
- ・ 0、1歳児の新入園児に対しては、個別に主担当保育者を決めて受け入れています。
- ・ 在園児に対しては、担当の保育士の一人を持ち上がりにする等の配慮をしています。
- ・ カリキュラム会議や職員会議等で話し合い、子どもの発達や状況に応じて、指導計画の作成・評価・見直しを行っています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・ 保育室はどの部屋も陽光が差し込み、明るく清潔な環境が保たれています。
- ・ 沐浴設備や温水シャワーも完備され、乳児の沐浴等に使用されています。
- ・ 2、3、4、5歳児の保育室は、オープンなつくりですが、保育の内容により、カーテン等で仕切り、それぞれの年齢にあわせた保育ができるように工夫しています。

- 4 一人ひとりの子どもに
個別に対応する努力




- ・ 0、1歳児は、個別指導計画を作成しています。
- ・ 特別な課題のある幼児については、個別指導計画を作成しています。
- ・ 個別の目標や計画は、個々の子どもの様子を見ながら変更や見直しを柔軟に行っています。
- ・ 子どもや家庭の個別の状況・要望は決められた書式に記録しています。また、入園後の発達記録があり、一人ひとりのファイルに収められています。
- ・ 子どもの記録内容は、いつでも必要な場合に閲覧することができ、職員間でその内容について共有しています。
- ・ 重要な申し送り事項は記録されています。さらに園では、進級前の3月から合同保育を実施し、保育士は次年度担当するクラスの子どもたちに接する中で、子どもの状況を把握しています。



- 5 保育上、特に配慮を要する
子どもへの取り組み



- ・ 特に配慮を要する子どもを、積極的に受け入れる姿勢があります。
- ・ 個別のケースについての話し合いや検討は、職員会議で行い、記録をとっています。また、特に配慮を要する子どもについては毎日記録をとり、その内容については担当職員がその都度、他の職員に伝えたり記録を閲覧したりすることができるようになっています。
- ・ 廊下をスロープにしたり、段差をできるだけ解消したりして、障がい児だけでなく乳児にも優しい構造になっています。
- ・ 保護者の同意を得て、療育センターから助言や情報を得ています。
- ・ 障がいの特性を考慮した個別指導計画を立てています。また、障がい児の個人ノートを作成し、全職員で対応できる体制があります。
- ・ 障がい児保育についての研修会に参加し、報告書にまとめて提出しています。また職員会議でも報告し職員間で話し合っています。
- ・ 職員は、文化や生活習慣などの違いを認め、尊重して接しています。

	<p>また、文化や生活習慣の違いについては、他の子どもたちにも説明し、子どもたちが理解できるように配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗教上の理由で食べられない食品は、代替食を提供しています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者委員の名前は入園のしおりに記載し、また玄関にも掲示しています。 ・ 苦情受付責任者は施設長です。入園のしおりに掲載しています。また、苦情解決システムについては、玄関に掲示しています。 ・ 園独自で解決困難な場合には、法人事業部に相談したり、第三者委員に相談したりする体制があります。 ・ 要望や苦情の解決策は、職員会議を通じて職員にも周知しています。 ・ 日頃から職員は、送迎時に保護者とできるだけ会話を交わすように心がけ、保護者の意見や要望を汲むようにしています。 ・ 外部の相談機関の苦情解決窓口の紹介はしていません。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが活動する空間をできる限り広く取る工夫として、壁面の収納棚におもちゃや教材を収納しているため、おもちゃや教材を子どもが自分で取り出せる環境ではありませんが、子どもが欲しい時は欲しいことを保育士に伝えて、保育士が取り出して与えています。 ・ 保育士は子どもの言葉や表情をしっかりと受け止める姿勢を持ち、子どもの興味を活動につなげて保育をすすめています。 ・ 一斉活動に入れない子どもには、保育士がゆっくり時間をかけて寄り添い、少しずつ友だちとの活動に近づけるようにすすめています。 ・ 季節に合わせて散歩コースを決め、子どもたちが折々の自然を感じることができるようにしています。 ・ 施設長が、子どもたちに“きれいな歌い方”の指導をしています。大きな声や元気な声を出すだけでなく、きれいな声で歌を歌うことを教えています。年齢に合わせて腹式呼吸での発声まですすめていきます。 ・ 0、1 歳児の合同クラス、2、3、4、5 歳児の合同クラスでの活動は日常的にあり、異年齢間の交流はごく自然に行われています。 ・ 天気の良い日はほとんど毎日、散歩に出かけたり、夏場はプール遊びをしたりして、外気に触れ体を動かすことを心がけています。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理担当者と保育士が子どもに合った量を盛り付けし、完食ができるようにしています。食べ終わった子どもには食べられたことをほめ、もっと食べられる子どもにはお代りに応じています。また、子どもの嫌いなものを無理強いすることはなく「少し食べてみる？」と、関心を持たせながら接しています。 ・ 現在の在園児にはいませんが、母乳での授乳（冷凍）も受け入れています。 ・ 正しい箸の使い方を 2 歳から教え、子どもたちはきれいな箸の使い方ができています。 ・ 同じ料理でも材料の切り方や、味付けなどで、子どもたちの食べられないものが食べられるようになることも多く、きめ細かな対応で、食べることに意欲が持てるように取り組んでいます。 ・ 毎月末には次月の献立表を保護者に配布し、家庭の食事との連携に配慮しています。 ・ 毎日、玄関ホールにその日の給食サンプルを展示し保護者がお迎え時に見られるようにしています。 ・ 2 歳児以上の寝具は衛生面の考慮から布団ではなく、コット（簡易ベッド）を使用しています。 ・ 就学に向けて 5 歳児の午睡を一斉活動にしない時期の設定は、毎年決まった時期ではなく、その年度の子どもの様子に応じて決定しています。 ・ トイレトレーニングは、概ね 2 歳から取り組んでいますが、年齢にはとらわれず子どものペースに合わせて行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [健康管理]



- ・ 少人数の園児に職員を多く配置する体制で、子どもの健康上の小さな変化にもよく目が行き届く仕組みができています。
- ・ 食後の歯磨き指導は2歳から行っています。2、3歳児の歯ブラシは2本用意し、1本は自分磨き用、1本は保育士による仕上げ磨き用としています。自分磨き用のブラシは、毎日自宅に持ち帰り洗浄して翌日持参、仕上げ磨き用のブラシは園内の殺菌庫で消毒をしたものを使用しています。
- ・ 健康診断（年2回）と、歯科検診（年1回）を行い一人ひとりの結果を記録し、ファイリングしています。
- ・ 感染症への対応マニュアルを作成し、園内に“登園を控えていただく病気”という掲示をして保護者に知らせています。また感染症が発症した時は、掲示物を玄関に貼り、保護者への情報提供を速やかにしています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [衛生管理]



- ・ 衛生管理に関するマニュアルがあり、年度末の見直しの会議では、新マニュアルの読み合わせ・確認を行い、さらに事務室にも掲示をして全職員に周知を図っています。
- ・ 職員は衛生管理への意識を高く持ち、園内を清潔・適切に保っています。

- 2 健康管理・衛生管理・
安全管理 [安全管理]



- ・ 毎月、地震や火災を想定して、地域の避難場所に避難誘導する避難訓練を実施しています。園児には避難時に「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」と、教えています。
- ・ 多くの職員が乳幼児救命講習を受けています。
- ・ 事故やケガの記録は小さなものでも、状況・対応・処置内容・事故後の対応などの項目で報告し再発防止に努めています。
- ・ 保育園の出入り口には施錠をし、不審者の侵入を防止しています。送迎時はカードキーを使用するシステムになっています。

- 3 人権の尊重





- ・ 子どもの呼び方は、名前をきちんと呼んでいます。保育士の子どもに対する姿勢や言葉遣いについては、人事考課の場でも確認する仕組みになっています。
- ・ 子どもが保育士と一対一で話したい時は、テラスや廊下を利用して、静かに対話のできる状況を作っています。
- ・ 法人で作成した“個人情報保護方針”があり、職員は年1回、これをテキストにした個人情報に関するテストを受けています。
- ・ 個人情報に関する記録は、事務室内に施錠の上保管しています。
- ・ 子どもの写真掲載については各保護者と話し合いを持ち、“写真掲載の確認書”に保護者からの要望を記録してもらい、要望に沿って行っています。
- ・ 虐待があったり、疑わしい時には、青葉区福祉保健センターなど関係機関と連絡・相談をする体制ができています。
- ・ 父親・母親の役割を固定的にとらえないよう職員会議でも話し合わせ、それぞれの家庭に合わせた役割があると認識しています。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保育の基本方針は、入園前の説明会で保護者に話し、理解を促す努力をしています。
- ・ 子どもの送迎時には担当保育士が保護者に対応し、子どもの様子を伝え合っています。
- ・ 保育園でのその日の様子は、2歳児クラスまでは個別の連絡帳で、3歳児クラスからはホワイトボードに記入して、保護者に知らせています。
- ・ 保護者からの相談内容に配慮が必要な場合には、事務室において施設長が応じる用意があります。
- ・ 毎月“園だより”“クラスだより”を発行しています。また日常の保育の様子や内容は、毎月写真を撮って貼りだし、希望者には販売もしています。各クラス20枚程度で1ヶ月間の保育の様子を伝えています。
- ・ 保護者参加の行事の時に保育参観をしてもらう他、希望があれば、いつでも保育参観を受け入れています。
- ・ 現在、保護者組織はありませんが保護者との意見交換は行われています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園が商業ビル内にあるという場所柄、地域との交流が希薄な環境です。 ・育児相談を随時行っています。 ・地域に向けての子育て支援サービスについては、小規模の保育園であり、物理的な制約もある中で何ができるかの模索中です。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談は、特に日を決めるのではなくいつでも受け付けています。 ・関係機関との連携には施設長があたっていますが、必要な関係機関や地域の団体をリスト化するまでには至っていません。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩先で出会う地域の人たちと、親しく交流をしたり、地域の図書館を利用したりするなどの取り組みはしていますが、保育園に対する地域の人々の理解を促す取り組みを行うまでには至っておらず、これからの課題と考えています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のホームページと、横浜市こども青少年局のホームページ“はびねすぽっと”に、随時情報の提供をしています。 ・利用希望者には見学ができることを案内し、見学は希望者の都合に合わせて、いつでも受け付けています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや実習生の受け入れに関するマニュアルがあり、受け入れ前にこれに基づいて園の方針を説明しています。 ・2か月に1度、ボランティアが子どもたちに“読み聞かせ”の活動をしています。 ・保育実習生との意見交換や実習後の反省会の場を何回か設けるなど、丁寧な受け入れ態勢ができています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体研修は、系列園の職員や院内保育所職員、系列法人の職員などの合同研修の場となっていて、法人の精神、ビジネスマナー他、幅広く学んでいます。この研修には、正職員・非常勤職員が参加しています。 ・ 人事考課制度があり、施設長は職員が記入したチェックシートを基に、今年度の反省と次期に向けての目標について話し合いをしています。面談は上期、下期に分かれて2回実施されています。 ・ スターチャイルドの人材育成計画の中に、セルフチェックシート、人事考課表（保育）、考課ランク、能力水準、昇給連動の仕組みが明文化されています。 ・ 研修担当者は施設長で、各職員に必要な研修受講の提案をしたり、あるいは各職員が自発的に受講したい研修についての申し出を受けて、調整したりしています。 ・ 内部研修は、保育研修やマナー研修等を年3回実施しています。 ・ 園外研修として横浜市・区主催の研修や白峰学園保育センターの研修を多数受講しています。 ・ 職員は、研修後、必ず報告書を提出し、職員会議で他の職員に周知すると共に、報告書はファイリングされていつでも閲覧することが可能です。また、報告書は職員専用のホームページ上でも掲載され、系列の職員も閲覧が可能となっています。 ・ 正職員、非常勤職員の組み合わせを考えた職員配置が行われ、各クラスリーダーや先輩の職員、施設長からも、非常勤職員は日常的に指導を受けることができます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議においてサービスの見直しを行っています。また、保育のスキル等については、他の保育士からアドバイスや指導を受けて、技術の向上に取り組んでいます。 ・ サービス向上を目指した取組みの一つとして、総園長（法人が運営する保育園を統括する園長）が週2回来園し、職員を指導する仕組みがあります。また、法人のスーパーバイザーの指導を受けたり、サッカーの指導者から「子どもの運動能力について」の講義を受けたりなど積極的に保育技術の向上に努めています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の職員には、できるだけ権限を委譲し、責任を持って対処するように指導しています。最終責任者は施設長です。 ・ 施設長は、日常的に職員から話を聞いたり、年2回の人事考課面接のときに業務改善についての提案を受ける等、職員の満足度や要望などを把握するように努めています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の就業規則の中に、法・規範・倫理等を明文化し、全体研修で全職員に周知しています。 ・ 経営・運営状況等の情報は、年1回施設長が職員に報告しています。また、職員は法人の経営等についてホームページ上で見るができます。 ・ 年3回実施されている法人の人材育成研修会において、他施設での不適切な事案を題材とした研修を行い、職員間にも周知しています。 ・ 環境への取組みについては、明文化されていませんが、たまごパックや牛乳パック等の空き容器を、積極的に使用し、ごみ減量化やリサイクルを心がけた保育を実施しています。 ・ 室内の電気やエアコンなど、必要の無い場合には切るようにしており、心がけて省エネルギーに取り組んでいます。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念や基本方針等については、人事考課時や職員会議等でも周知され、職員は理解しています。 ・ 園は、重要な意思決定にあたって保護者との意見交換を心がけ、職員や保護者にも説明をしています。 ・ 職員を多めに配置しています。また、主任としての役割を担える職員を計画的に育成しています。 ・ 人事考課時には、職員が自らの仕事を振り返り、次の目標を定める等の工夫をしています。 ・ 施設長は、職員の業務状況を把握しています。またクラスリーダーは、施設長の補佐の役を担っています。 ・ クラスリーダーは、主任研修会にも参加しており、職員の能力や経験にあわせた助言や指導を、保育の現場で行っています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人は、新聞や行政等から得たものを基に情報の収集や分析を行っています。 ・ 毎月1回開催されている施設長会議では、重要事項について議論し、法人へ報告・提案を行っています。 ・ 法人は、保育園経営について3年毎の保育事業計画を策定しています。 ・ 法人は、次代の組織運営に備え、運営や新たなサービスについて常に検討しています。 ・ 次代に向けた後継者として、法人の方針を理解して運営できる施設長・主任級の保育士の育成に取り組んでいます。 ・ 青葉区社会福祉協議会や、保育の専門家等から意見を聞いて運営に活かす仕組みがあります。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2009年6月15日～6月30日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約72%（29枚配付、21枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...5人、1歳児クラス...2人、2歳児クラス...5人、3歳児クラス...2人、
4歳児クラス...3人、5歳児クラス...3人、無回答...1名

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。
文中の「満足度」は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の基本理念や基本方針について

「保育園の保育目標や保育方針」を、86%の保護者が知っていると答えています。「知っている」()と答えた保護者の100%が、保育目標や保育方針に賛同できると答えています。

()数値は「よく知っている」「知っている」の回答を合計した数値です。

【問2】入園時の状況について

「1日の過ごし方の説明」や「費用やきまりの説明」については95%の満足度()です。「園の目標や方針の説明」「面接時の対応」についても90%の満足度です。見学をしていない保護者もいる一方、“見学時の対応は良かった”との声もあります。

【問3】年間の計画について

「保育や行事の説明」については72%、「保護者の要望が活かされているか」については48%の低めの満足度になっています。“保護者参加行事の要望”“お泊まり保育中止に関する説明の要望”などの意見があります。

【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目では、「活動や遊びに子どもが満足しているか」については100%の満足度です。「健康づくりへの取り組み」については95%、「おもちゃや教材について」については81%の満足度です。

「生活」の項目では、「給食を楽しんでいるか」「生活習慣の自立への取り組み」「おむつはずし」などの設問については95%の満足度があり、園の取り組みや対応に満足している声があります。「保育中のケガ」については、“きちんと伝えてくれる”という声と“相手の名前が知らされない”という声があります。

【問5】快適さや安全対策などについて

「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気か」については100%の満足度、「不審者侵入対策」にも95%の高い満足度です。「施設設備」と「感染症の情報提供」については81%の満足度です。感染症の対策と情報提供に、より丁寧な対応を望む声があります。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「保護者からの相談」についての満足度が100%、「送り迎えの際の対応」については90%の高い満足度がある一方、「保護者懇談会や個別面談の機会」についての満足度は57%にとどまっています。“面談の回数を増やしてほしい”という声と共に“保護者同士の交流”を望む声もあります。

【問7】職員の対応について

「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」については、100%の満足度です。「子どもが大切にされているか」「話しやすい雰囲気や態度か」などの設問についても 95%の満足度です。職員への信頼と感謝の声が多数あります。

【8】保育園を総合的に評価すると

100%の保護者が満足と回答しています。

【問9】園への要望など

「園長や保育士の異動で不安があったが、現在は安心している」「子どもを安心して預けている」との声が複数あります。

まとめ

- ◇ 100%の保護者が満足と回答した設問が多くあり、保護者との信頼関係の良さが見てとれます。
- ◇ “ 懇談会や保育参観の希望 ” や、“ 面談の回数を増やしてほしい ” などの、保育参加への積極的な要望が目立ちます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

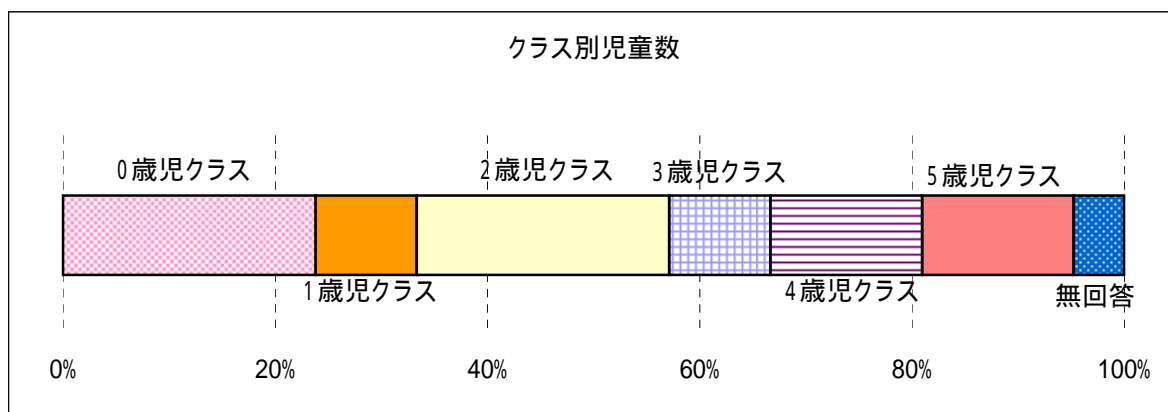
実施期間： 2009年 6月15日～6月30日

回収率： 72.4%（回収21枚／配布29枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
21	5	2	5	2	3	3	1

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入



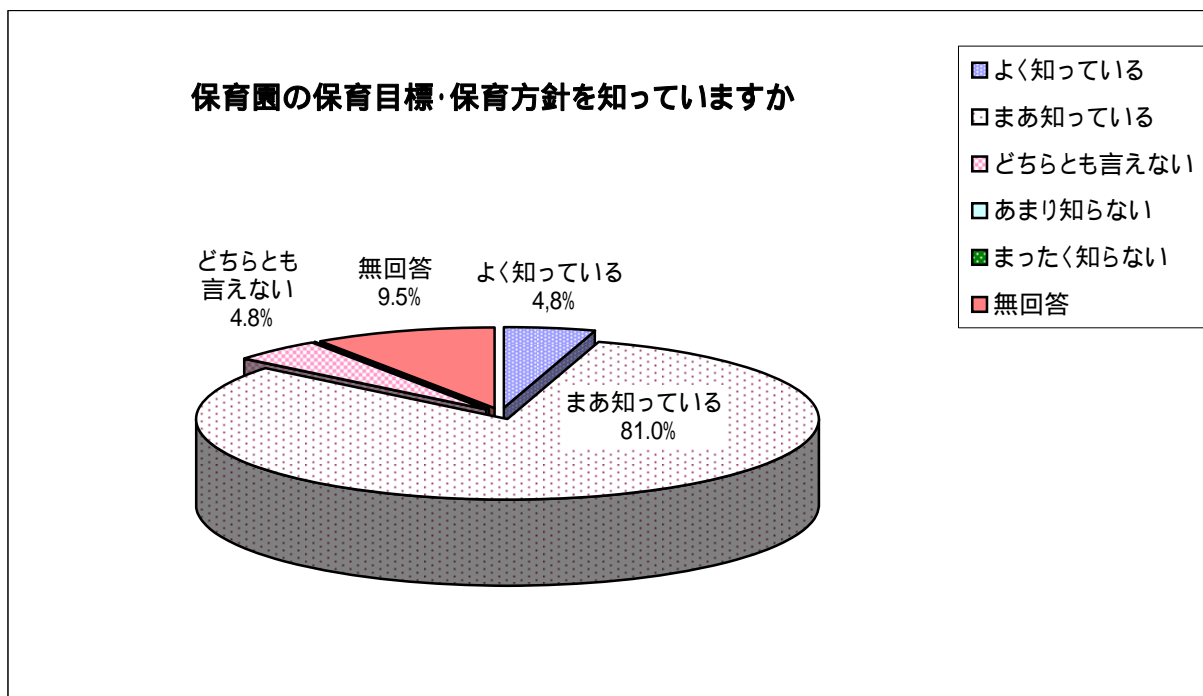
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	4.8	81.0	4.8	0.0	0.0	9.5	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

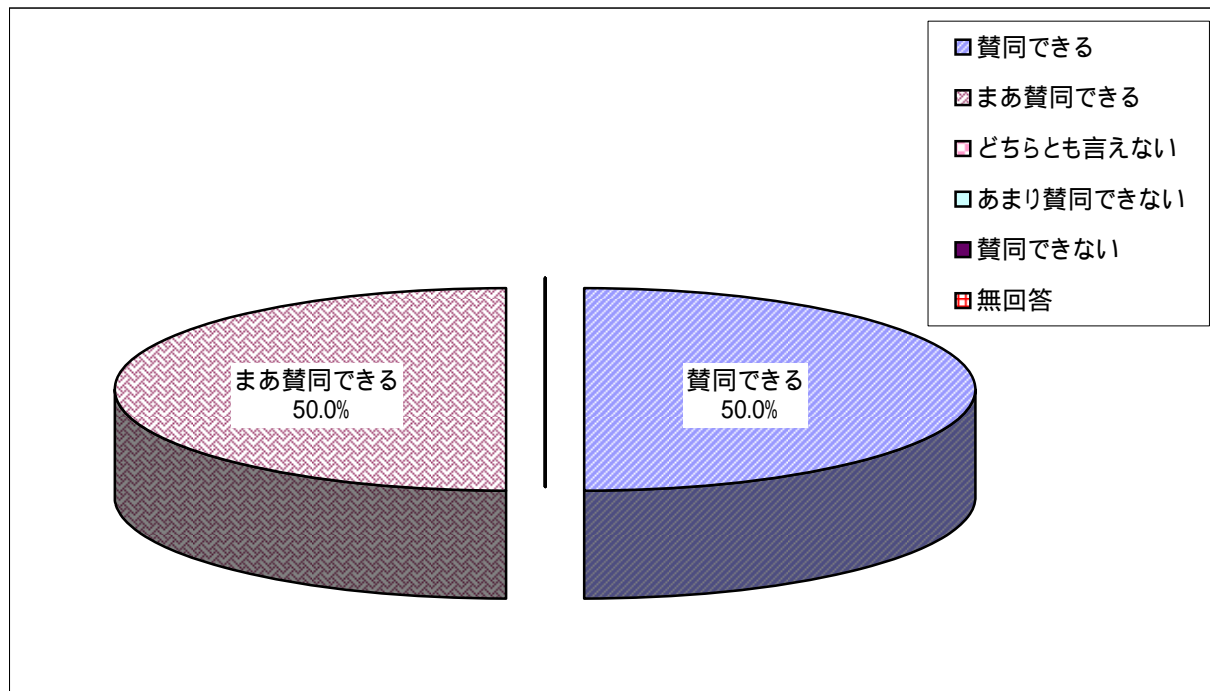


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

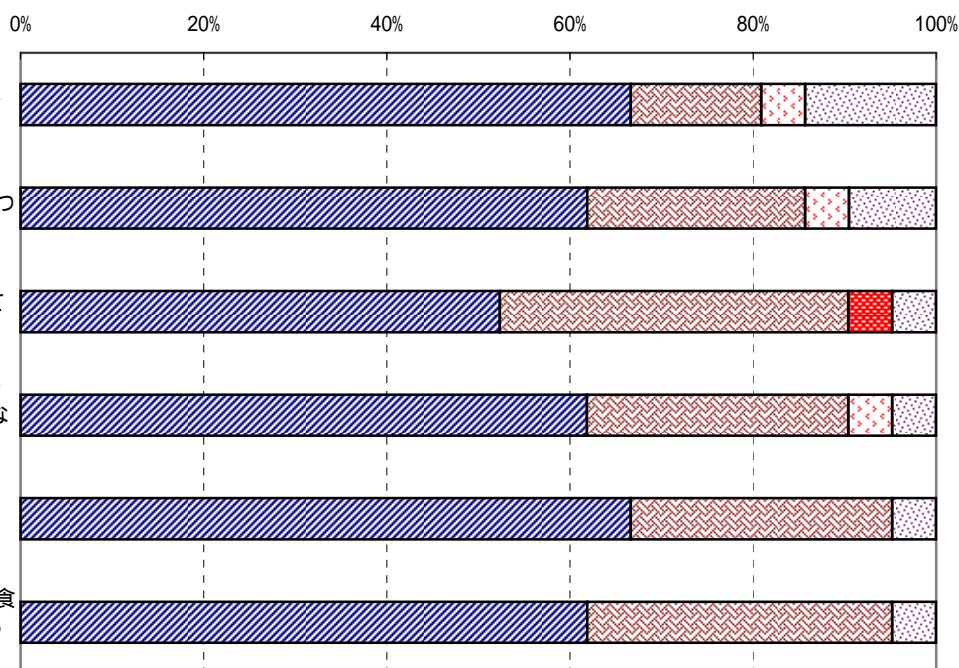
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	66.7	14.3	4.8	0.0	14.3	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	61.9	23.8	4.8	0.0	9.5	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	52.4	38.1	0.0	4.8	4.8	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	61.9	28.6	4.8	0.0	4.8	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	66.7	28.6	0.0	0.0	4.8	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	61.9	33.3	0.0	0.0	4.8	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



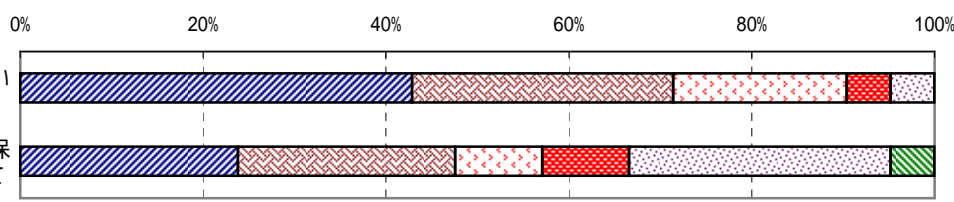
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	42.9	28.6	19.0	4.8	4.8	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23.8	23.8	9.5	9.5	28.6	4.8	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

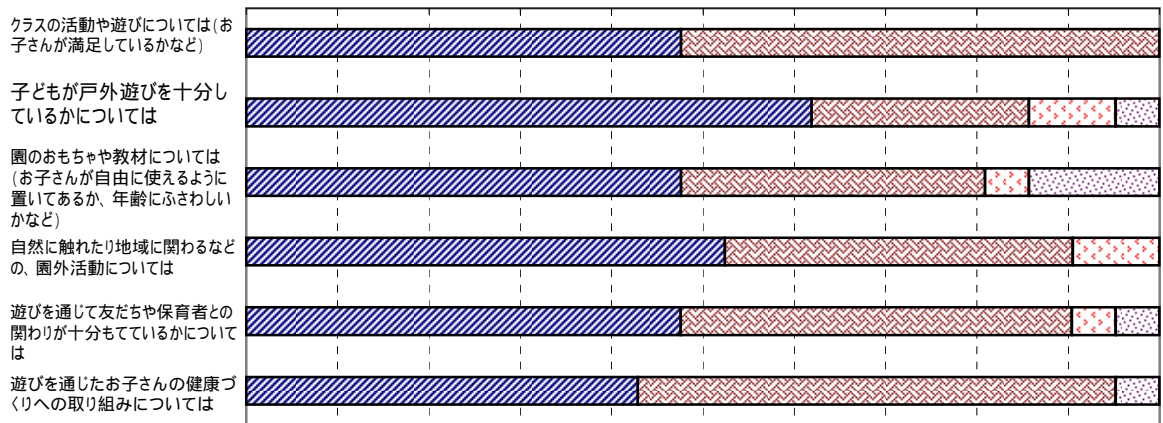
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	47.6	52.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	61.9	23.8	9.5	0.0	4.8	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	47.6	33.3	4.8	0.0	14.3	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	52.4	38.1	9.5	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	47.6	42.9	4.8	0.0	4.8	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42.9	52.4	0.0	0.0	4.8	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



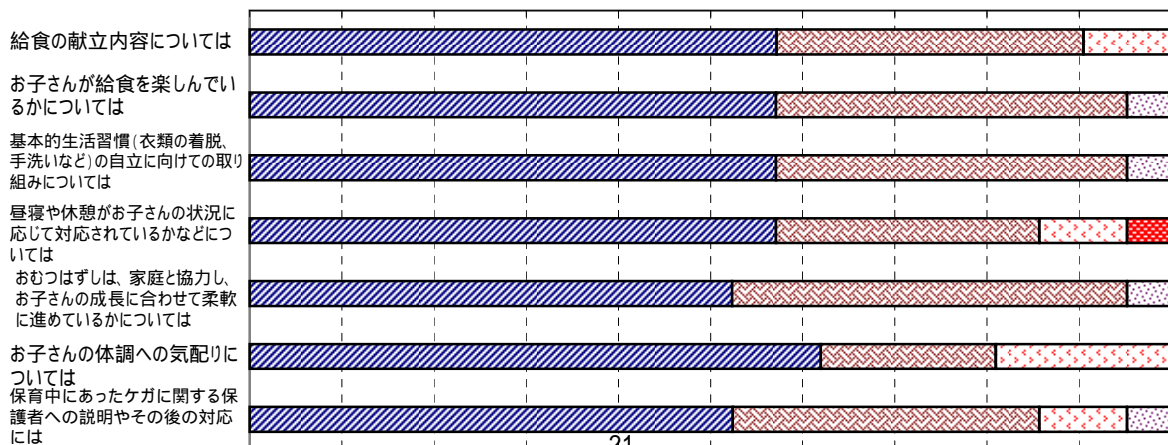
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	57.1	33.3	9.5	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	57.1	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	57.1	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.1	28.6	9.5	4.8	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	52.4	42.9	0.0	0.0	4.8	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	61.9	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.4	33.3	9.5	0.0	4.8	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



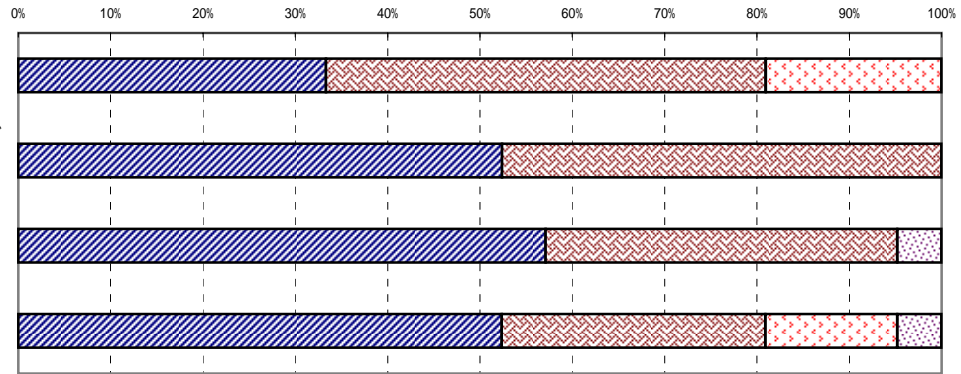
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	33.3	47.6	19.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	52.4	47.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	57.1	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	52.4	28.6	14.3	0.0	4.8	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



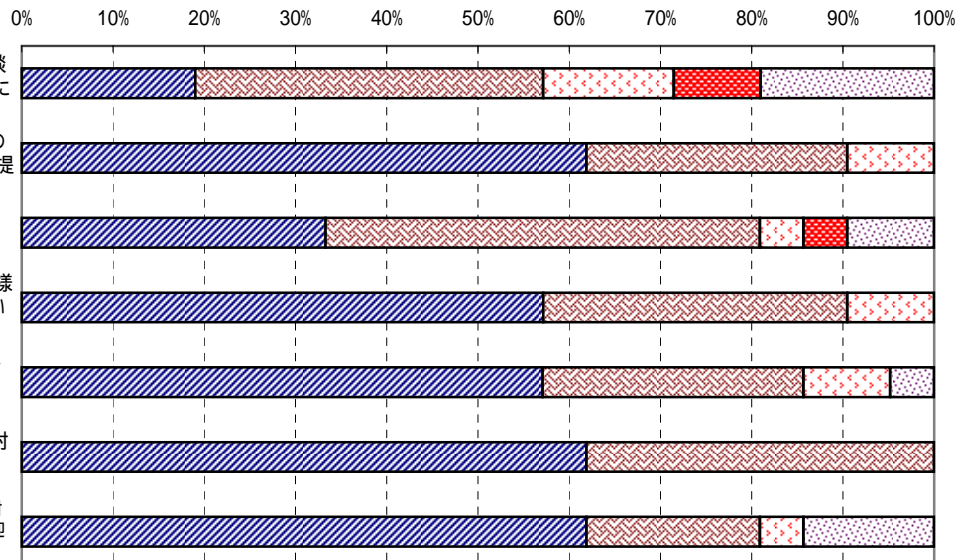
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	19.0	38.1	14.3	9.5	19.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	61.9	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	33.3	47.6	4.8	4.8	9.5	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	57.1	33.3	9.5	0.0	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	57.1	28.6	9.5	0.0	4.8	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	61.9	38.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	61.9	19.0	4.8	0.0	14.3	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応について

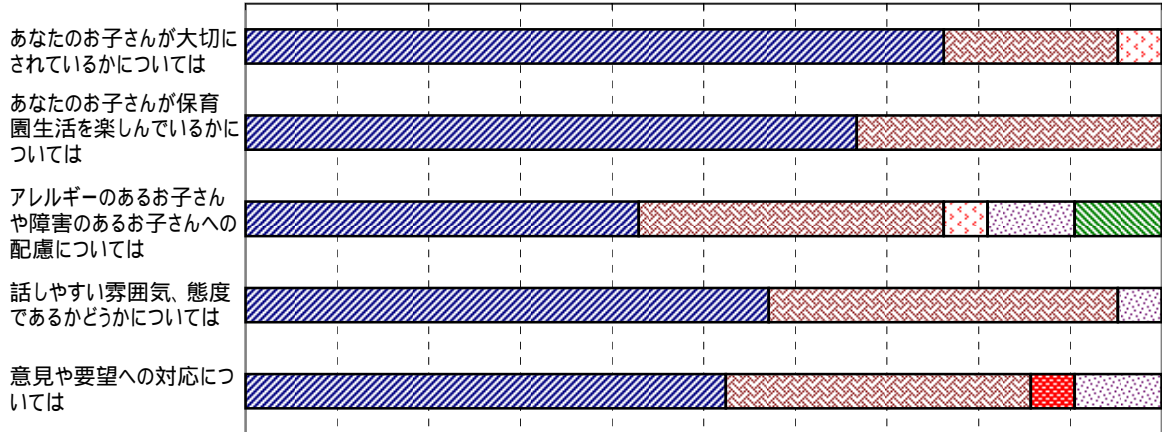
(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	76.2	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	42.9	33.3	4.8	0.0	9.5	9.5	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	57.1	38.1	0.0	0.0	4.8	0.0	100
意見や要望への対応については	52.4	33.3	0.0	4.8	9.5	0.0	100

職員の対応について

■ 満足 ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 ■ その他 ■ 無回答

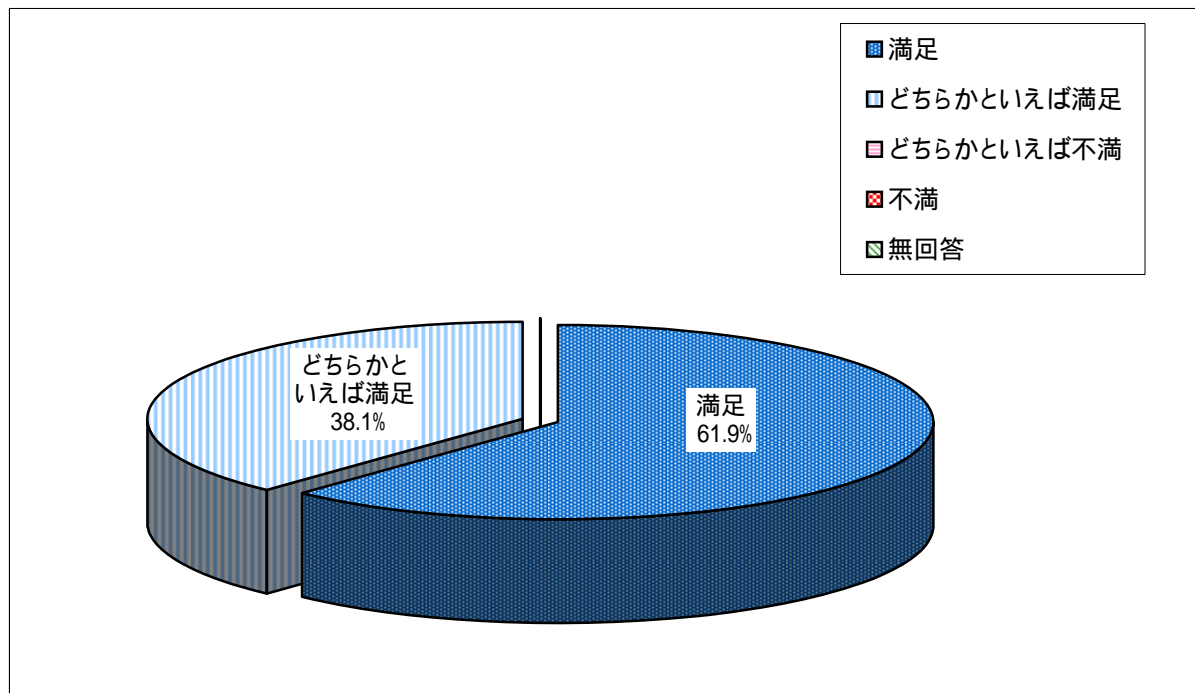
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	61.9	38.1	0.0	0.0	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 7月30日（木）9：00～12：30 8月4日（火）9：00～12：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0歳児・1歳児クラス

0歳児と1歳児は合同のクラスです。明るい気持ちの良い保育室では、ベビーベッドで眠る子ども、ベビーチェアに座る子ども、フロアで遊ぶ子どもたち、それぞれが保育士たちとゆったりとした朝の時間を過ごしています。“お片づけ”の声かけで遊んでいたぬいぐるみを箱にしまうこともできます。小さい時から、集団生活の練習と日常生活の自立に向けての練習が始まっています。「トイレに行きましょう」の声に、歩ける子どもはみんな、トイレの方へ集まります。保育士は「自分で脱いでみよう」と一人ひとりに声をかけながら、子どもたちが自分でできることをまず自分でやってみて、それから手助けをする姿勢でいます。子どもたちは、「もう少しね、がんばろう」「上手にできたね」などと応援してもらったり、ほめてもらったりしています。

子どもたちは、いろいろな場面で、何種類もの歌や絵本や手遊びをしています。絵本のまねをしたり、リズムに合わせて体を動かしたり、大きな声で歌ったりと、とても楽しんでいます。おやつ時間も“おやつの歌”を歌うことから始まります。もっと欲しい子どもは「おかわりください」と伝えています。授乳や離乳食の子どもには保育士が一对一で向き合い、穏やかに話しかけながらゆったりと対応しています。

散歩の準備は、決まった場所に一列に座って、帽子や靴下や靴などの身支度を、少しずつ自分で整える練習をしながら待っています。ベビーカーに乗って行く子どもと、歩いて行く子どもがいます。横断歩道ではちゃんと手を挙げて渡ることも覚ええました。散歩の途中では、たくさんの出会いがあります。通りすがりの人や、ガードマンのおじさんから声をかけてもらったり、アゲハチョウやセミや大きなイヌを見つけたり、その時々嬉しそうな表情であふれています。公園では保育士とかけっこです。よちよち歩きの子どもも、走れる子どもも元気いっぱい遊びます。

2歳児クラス

朝の自由時間は、2、3、4、5歳児の合同保育です。異年齢の子どもたちが自然に混ざって保育士の膝に乗ったり、数人のグループになったりして、ブロックや積み木やパズルで遊んでいます。遊んでいたおもちゃの“お片づけ”を済ませてから、朝のご挨拶、体操へと進みます。体操は年齢ごとの各クラス別に整理して始まります。「前へならえ、気をつけ、ピッ」の号令できれいに並び“アンパンマン体操”が始まりました。2歳児クラスは、まだ全部はできませんが、年長のクラスの子どもの動きを見ながらついていきます。

オープン形式の保育室をカーテンで仕切り、2歳児だけの部屋になって朝のおやつです。机と椅子が用意され、椅子には子どもたちそれぞれのマークがついています。自分の椅子をマークで確認して着席します。配られたタオルで、自分で手や顔を拭き、ミルクが配られるのを待ちます。タオルを自分の顔にのせて「おばけだぞう」と、遊ぶ子どももいて、寛いだ空気の朝です。

紙芝居をみたり、歌を歌ったりなどして過ごします。保育士から「きれいな声で歌ってね」と言われて、上手にきれいな声で歌います。

テラスでのプール遊びの準備が始まります。保育士の「トイレ行きます」の声に、全員でトイレに向かいます。「出ない」と言う子どもには「座ってみようか」「おむつだけかえよう」と促しています。みんなで移動する時はクラス名の“にじ組列車”で動きます。前の子どもの肩に両手を乗せて全員がつながって歩きます。トイレから出る時も“にじ組列車”です。着替え終わった子どもたちは、保育士から“テラスで走らない”“一人でプールに出入りしない”などのプール遊びでの注意を受けて、いよいよプールの時

間です。水かけっこ、ワニさん歩き（水の中で這って歩く）、おもちゃ（ボール・魚つり・じょうろ等々）を使っただけの遊びに大喜びです。

みんな水遊びが好きですが、中には、少し水が怖い子どもや、顔に水がかかると嫌な子どももいます。保育士は、そうした子どもたちにもより丁寧な配慮で、他の子どもたちに「　　ちゃんに水をかけないでね」と気遣いがあります。

途中でおもちゃのとりっこが始まると、「どっちか貸してあげてね」「遊んでいる時にパッと取られたら嫌ね」などと保育士が話し聞かせて解決します。子どもたちは保育士の言葉をよく理解できて、大きなもめごとや長いもめごとに発展することはありませんでした。

昼食前には、食べ物を題材にしたパネルシアターの歌やお話で、食事への興味を膨らまします。テーブルに着き「いただきます」の挨拶から食事を始めます。配膳をする調理員とも仲良しです。おしゃべりをしながらの楽しいお昼です。一人で一生懸命食べますが、ごはんやおかずが少しになって食べにくくなると、保育士に食べやすくまとめてもらう“集まれ”をしてもらい、きれいに食べ終わります。

食後は指人形で「お口の中の虫バイ菌を退治」と、歯磨きの説明があり、“丈夫な歯になる歯磨きの歌”を歌いながら歯磨きをします。まだ、子どもたちは歯磨きのまねごとだけですが、保育士がきれいに仕上げ磨きをして終わります。歯ブラシを持ってふざける子どもには、保育士が子どもと目を合わせ、危険なことをしっかりと注意します。子どもも注意をよく聞きわけています。

3歳児・4歳児・5歳児クラス

朝の時間、今日の当番2人が指名されると「お当番さんおねがいします」「がんばります」の受け答えの後、当番が用意する各自の出席帳に、今日の出席シールをみんなで貼ります。4日は“よっか”と言う、日にちの呼び方も習っています。

ピアノの前にクラス別に整列して歌を歌います。発声練習から始まり、保育士の指揮で歌に表情がつき、「おなかから声を出して」「きれいな声で」にこえて、元気なしかも優しい歌声です。

お茶で水分補給をして、みんな大好きなリズム体操です。どの曲の振り付けもよく覚えていて、曲に合わせて大きな声を出し、体を十分動かし、全員が夢中です。子どもたち同士がダンスに熱中してぶつかることのないように、保育士たちが子どもたちのスペースに気を配っています。

何曲かの体操の後、保育士から「水遊びする？」と聞かれると子どもたちは「もっと体操したい！」と、口々に叫びます。子どもの声にこえて、もう1曲の体操が終ると「汗びっしょり」「プール入ろう」と納得して次の遊びに向かいます。

このクラスのプールでの注意は、保育士からの質問に子どもたちが「プールでのお約束はなんですか？」「走らない」「どうしてかな？」「すべるから」などと答えて確認しています。

プールでは、おもちゃの魚の番号や色を探して水の中から取り出す競争や、追いかけて、フラフープくぐり、などで思いきり水遊びを堪能します。

障がいのある子どもも参加していますが、他の子どもたちはその子どもにぶつかることのないように、自然な気持ちの良い気遣いをしながら、とても上手に遊んでいます。

昼食までの間、室内で万国旗を見ながら、みんなで話します。国名を当てたり、英語の先生の国旗を見たり、在籍園児の母親の国旗を見たり、知っている国の話しをしたり、とてもにぎやかです。

食事の準備が整い、テーブルに着きます。当番2人が献立を紹介し、全員で給食の歌を歌い、「いただきます」の挨拶から食事が始まります。野菜中心の献立でしたが、「お野菜好き」と言って残さず食べ、何度もおかわりをするほどの食欲です。箸の使い方は2歳から教えられ、とても上手です。「ごちそうさま」の挨拶が済むと、廊下に座って歯磨きをします。自分で磨いたあと保育士に仕上げをしてもらいます。

少人数の保育は保育士の目がよく行き届き余裕のある保育が行われ、子どもたちは保育士を信頼し、思う存分甘えて生活しています。さらに、異年齢の合同保育は、園の方針どおり兄弟の多い一家族がリビングで楽しく遊んでいるような、寛いだ空間を生み出していました。

横浜市福祉サービス第三者評価 事業者コメント

第三者評価を受審するにあたり様々な不安や戸惑いもありましたが、より良い施設にしたいと考え、園に携わる保育士、栄養士、調理員、事務員等、職種や雇用形態を問わず全職員で取り組みました。

今まで当たり前のように行っていた業務についても、全職員で改めて話すことで内容を見直す良い機会となり、職員間で共通の認識ができて大変有意義な活動になりました。今後もこのような機会を定期的に設けて、適正な運営ができるよう現在使用しているマニュアルにも反映をさせて改訂していきたいと思えます。

保護者の皆様には、お忙しい中「利用者アンケート」にご協力頂き、誠にありがとうございました。評価結果は、私たちにとってこれからの保育の励みとなるものばかりでした。ご意見・ご要望を参考に今後も保護者の皆様のお気持ちに応じられるよう、保育の質の向上に努めます。そして、保育の安定と保護者との繋がりを大切にして子ども達にとっての心地よい環境の場となるよう、職員一丸となって邁進してまいります。

また、地域の皆様や子育て支援に対しても、私共が役立つことを積極的に増やしていけるような取り組みを実施していきたいと思えます。

最後になりましたが、評価機関「市民セクターよこはま」の調査員の皆様をはじめ、第三者評価の受審に携わって下さった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

スターチャイルド 江田ナーサリー
施設長 管野 弘美

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
